

## あけまして おめでとう ございます う 卯 れ い し い こ と が た く さ ん あ い ま す よ 卯 に ! !



「卯」の刻は、さわやかな一日の始まりのとき。

「卯」の年が、桜井っ子にとって、新たなさわやかな始まりの年となるよう、保護者のみなさん、地域のみなさんと手を携え、力を尽くしていきます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、冬休みは、家族と多くの時間を過ごすことができたことと思います。年末の大掃除や買い物、初詣など、子どもたちにとっては、ふだんの生活とは異なる多くの体験を通して、その意義を学ぶこともできたのではないのでしょうか。

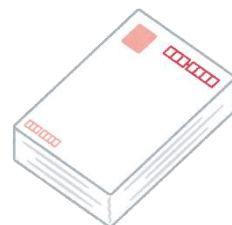
3学期は1年の総まとめをするとともに、一つ上の学年へ進む準備をします。職員一同、子どもたちの力をさらに伸ばすことができるよう尽力し、支援していきます。

また、年明けから新型コロナウイルス感染症の陽性者数が急増していることが気に懸かります。学校では、子どもの学びを保障できるよう、引き続き感染対策を継続していきます。ご家庭においても、ご協力くださいますようお願いいたします。

## 書き損じはがきの集約にご協力をお願いします ~2月3日(金)

P T A運営資金の一部としたり、不要になったはがきを再利用したりするために、安城市P T A連絡協議会事務局より、書き損じはがきを提供していただきたいとの依頼がありました。

ご提供いただける方は、お年玉年賀はがき抽選日の翌日、1月16日(月)から2月3日(金)までの間に、お子さんを通じて学級担任にお渡しください。ご協力をお願いします。



## うめの花読書まつりに向けて

図書委員会が計画する「うめの花読書まつり」を、1月23日(月)~2月3日(金)にかけて行います。現在、本館教室改修工事により図書室は閉館しています。そのため、読書まつりは縮小開催となります。読み聞かせボランティアさん、図書委員、先生の読み聞かせを実施します。また、各学年の出張図書館を活用できるように準備します。



子どもたちは読書することで、現実世界では体験できないようなさまざまな冒険や物語を体感することができます。合わせて、読解力や想像力を高められる働きもあります。期間中、子どもたちの取り組みに合わせ、ご家族で読書をお楽しみください。

## インフルエンザ等による臨時休業(休校や学級閉鎖)時の児童クラブについて

- ① 学級閉鎖になった場合は、その学級の児童は、閉鎖期間中児童クラブを利用せず、自宅療養(待機)になります。
- ② 休校になった場合は、休校期間中児童クラブも閉所になります。
- ③ インフルエンザ等により短縮授業となった場合は、該当する学級の児童は、児童クラブを利用せず、自宅へ帰ります。

☆学校を早退する場合、その旨を、保護者の方から児童クラブへご連絡ください。

## 学習発表会のお知らせ 2月10日(金)

本年度の学習のまとめとして、学年、学級ごとに、1年間の学習の中から内容を決めて、発表会を開催します。発表内容は以下の通りです。スケジュールの詳細は、2学期末に配布しました案内文書や各学年のおたより1月号にてご確認ください。

1年	各教科	「できるようになったよ発表会」	各教室
2年	生活科	「自分ほっけん発表会」	各教室
3年	総合学習	「みんながくらしやすいまち 桜井」	体育館
4年	総合・音楽	「ぼく・わたし映輪隊～sakurai×family～」	体育館
5年	総合学習	「さくらい米米クラブ活動発表会」	各教室
6年	総合学習	「私の未来をデザインする」	各教室
さくら1・2組	生活単元	「さくら組のはる・なつ・あき・ふゆ」	さくら2組
さくら3・4・5組	自立活動	「がんばったこと発表会」 音楽科「合奏」 ※2月17日(金)第5校時13:40～14:25(2月10日の発表はありません)	さくら5組
さくら6・7組	自立活動	「話し方・聞き方発表会」	さくら7組

※さくら3・4・5組の児童のうち、10日(金)に交流学級の発表会に参加する場合は個別にお知らせします。

## 「3学期始業式 代表のこたば」

桜井っ子からのメッセージ

3年生になって半分以上が過ぎました。ぼくの楽しみは、毎日学校に来ることです。

1学期は、友達とけんかをすることも多く、すねてしまって「ごめんなさい」と言えませんでした。しかし、けんかの後の話し合いを自分たちで何度もするうちに、もっと成長したいと思うようになりました。友達とけんかをして、自分の行動を反省するように心がけました。すると、友達がどんどん増えていきました。人の気持ちを考えられるようになったからだと思います。

2学期の出来事で一番思い出に残っていることは、長距離走の練習です。スタートで転んでしまい、いつもより順位が遅くなってしまいました。けがもしてしまい、悲しい気持ちでいると友達が「大丈夫」と、声をかけてくれました。うれしかったので、学級閉鎖の時のオンライン授業で、友達にマイタブレットでお礼のメッセージを書きました。友達はとても喜んでくれました。自分の思いを伝えてよかったと思いました。今では、困っている友達に声をかけることができます。

3学期にがんばりたいことが2つあります。1つ目は友達と仲良く過ごすことです。2つ目は、机やロッカーの整理整頓をすることです。これからももっと成長して、みんなに頼ってもらえる人になれるように、努力を続けたいです。  
[3年 児童代表]

今日から、3学期が始まります。3学期はどんなことをがんばりたいですか。わたしは、卒業までの約3か月間執行委員として桜井っ子のみなさんと頑張っていきたいことがあります。それは、桜井っ子同士が助け合って学校生活を送っていくことです。

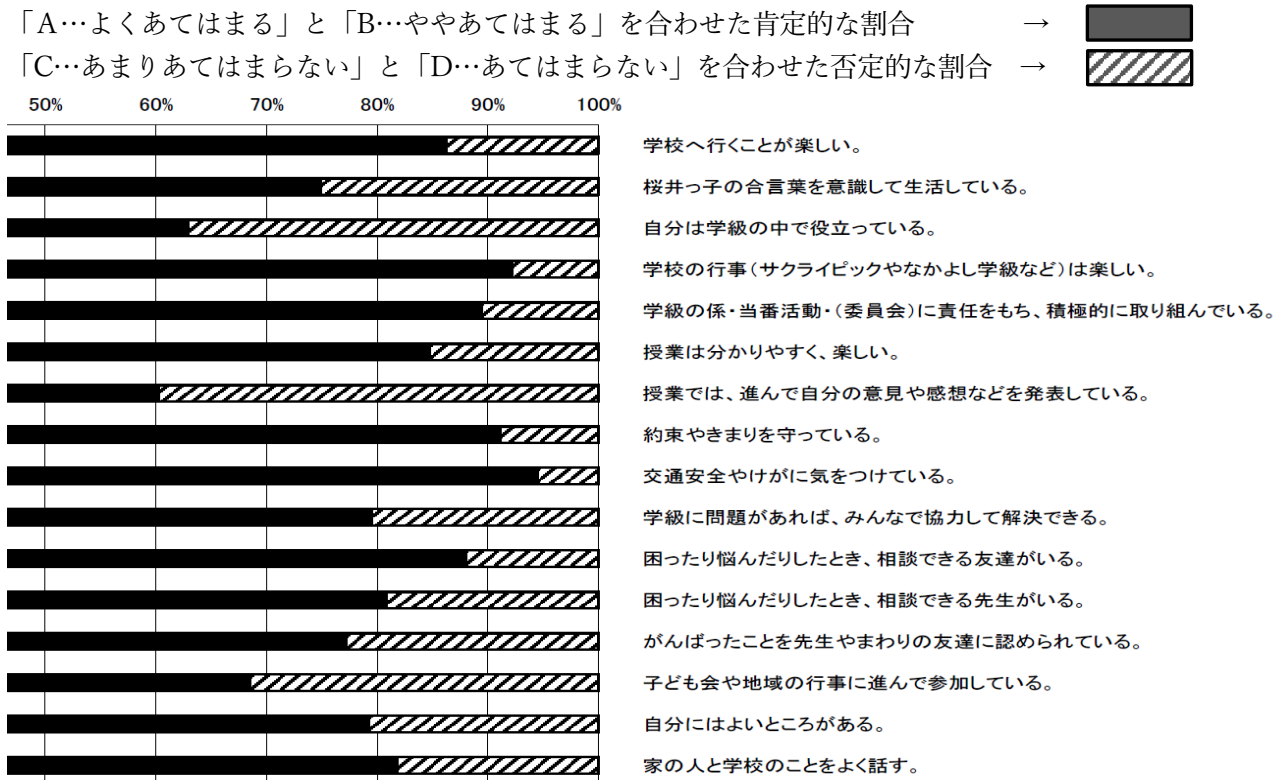
わたしが、特に助け合っていきたいことは、桜井っ子みんなが安全や健康に気をつけて学校生活を送れるようにすることです。ろうかを走る子が少しでも減るといいと思います。風邪、コロナ、インフルエンザなどの病気にならず、健康に気をつけて生活できるといいと思います。みんなの安全や健康のために一人一人が気を付けるということは、一人一人がみんなのことを考えていると思うからです。そのために、私が進んで桜井っ子のみなさんに声をかけていきたいです。

3学期も誰かのためになるように助け合って行動していきましょう。

[6年 児童代表]

## 令和4年度 学校評価アンケートの結果と分析・今後の改善方針について

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果をもとに以下のように分析し、改善方針をまとめました。ご一読いただき、今後ご支援、ご協力をお願いします。



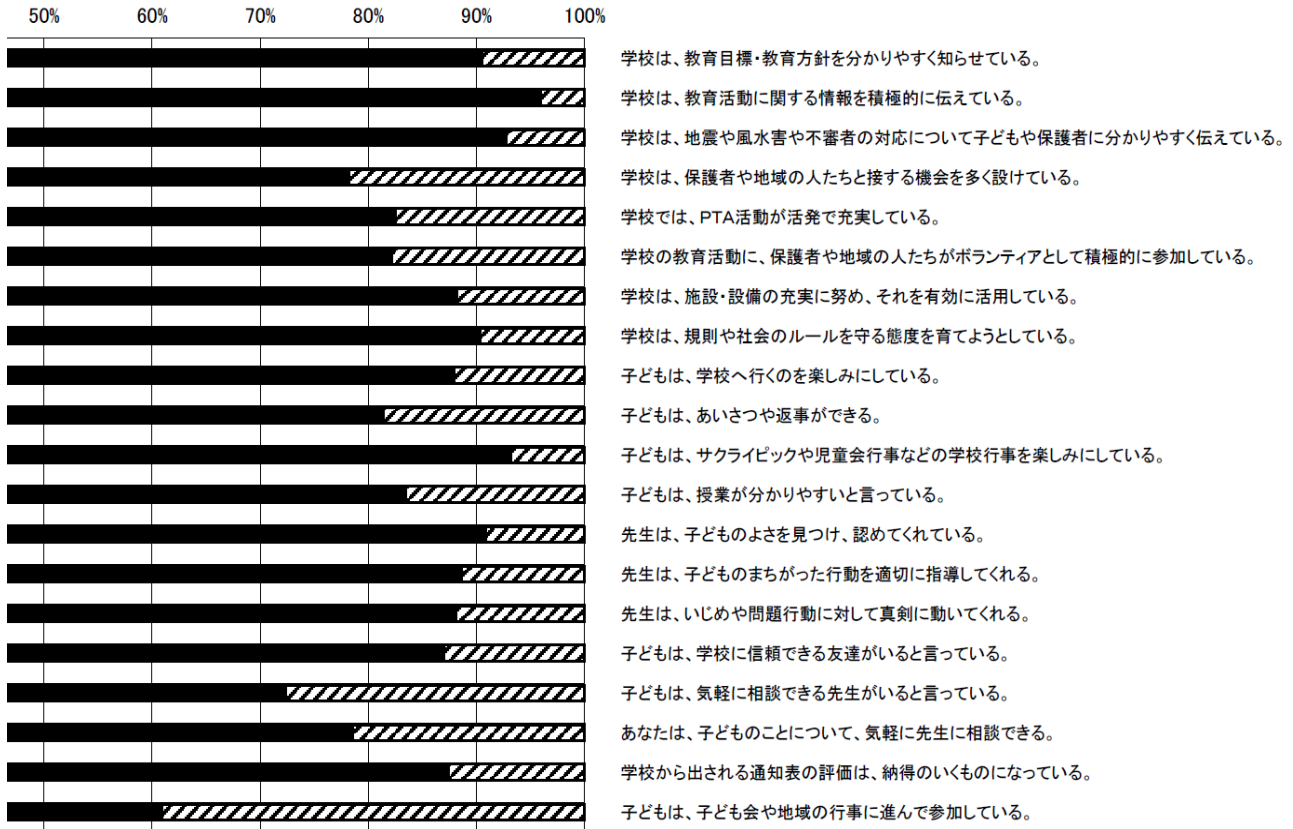
### 〔児童アンケートの集計結果と今後の改善方針〕

今年度の質問項目について、2点変更しました。一つは「あいさつや返事ができる」を「桜井っ子の合言葉を意識して生活している」、もう一つは「通知表には、学習や生活でがんばったことが書かれている」を「がんばったことを先生やまわりの友達に認められている」と変更しました。

今年度の児童アンケートの結果は、全体的に昨年度よりも肯定的な割合が減少しています。特に、前述の2項目については、「合言葉」に関する項目が7.9%の減少、「がんばっていること」に関する項目が8.2%減少しました。「合言葉」については、「あいさつ」に関する質問と比較して、「あいさつ」「いのち」「うつくしい学校」「えがお」「おもいやり」と評価項目が多岐に渡っているため、全てを意識して生活しているに当てはまると回答することが難しかったのかもしれません。合言葉として掲げていること、桜井っ子のよりよい学校生活のために児童が自ら意識して生活できるよう支援方法を工夫する必要があります。「がんばったこと」については、通知表だけでなく、日常生活から認められているかと判断の基準が広がったことが原因の一つかもしれません。桜井っ子一人一人は、それぞれががんばっていることがあり、長所があります。そこを、本人が肯定できるよう教師や友達から認められる場面を設定するなど、改善していく必要があります。

「自分にはよいところがある」の項目について、肯定的な割合が昨年度より5.1%減少しています。桜井っ子の自己肯定感の低さが結果に表れています。ここに挙げた3つの項目をはじめ、多くの項目について、桜井っ子は自分自身に厳しく評価しているようです。謙虚な姿勢はよい点ですが、桜井っ子一人一人が自分に自信がもてるような支援指導の工夫改善を、今後の重要な課題としたいと思います。

「授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している」の項目において、肯定的な割合が1.6%の増加が見られます。この項目は、過去2年間肯定的な割合が60%に届いていませんでした。この要因として、各学級の授業において、気軽に発言できる雰囲気を醸成することや少人数グループでの意見交換の場を設定すること、マイタブレットを活用し意見を表出する場を増やすこと、子どもが興味をもてる学習課題を設定することなどが考えられます。また、児童会活動においても、マイタブレットを活用して、学校の委員会活動の時間以外で情報交換を図っています。このことを肯定的に捉え、より桜井っ子が自由に意見交換できる授業など教育活動ができるよう工夫改善を進めていきたいと思ひます。



### 【保護者アンケートの集計結果と改善方策】

今年度のアンケートにおいて、肯定的な割合が減少したのは、次の3つの項目でした。

- ①「学校は、施設・設備の充実に努め、それを有効に活用している」(0.5%減少)
- ②「先生は、子どものまちがった行動を適切に指導してくれる」(0.6%減少)
- ③「あなたは、子どものことについて、気軽に先生に相談できる」(0.5%減少)

①については、トイレの数が少ないこと、駐車場が確保されていないことなどのご意見をいただきました。トイレについては、学校から市へ要望し続けています。しかし、善処に向けた回答がない現状です。今後も要望していきます。駐車場については、小学校、児童クラブ用として、学校北側の駐車場が使用可能となっています。健康面、身体面において送迎が必要な児童の送迎スペースとして利便性の向上が図られます。行事の時に必要な台数の確保は、今後も困難であることをご理解くださいますようお願いいたします。

②③については、子どもの支援、指導において、保護者の方々と十分な情報共有、共通理解が出てきていないことが要因の一つであると考えられます。桜井小学校では、全教職員で、桜井っ子一人一人の個に応じた、適切かつ的確に支援、指導できることを大切にしています。しかし、保護者との共通理解が十分でないと、支援、指導の目標にずれが生じることとなります。4月の教育相談、1・2学期末の懇談会だけでなく、必要な時に教育相談を実施することが必要だと考えていますので、お時間のある時に気軽にご相談ください。

「学校は、保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けている」の項目において、肯定的な割合が約11%、「学校では、PTA活動が活発で充実している」の項目において、肯定的な割合が約9%それぞれ上昇しています。コロナ禍の中で、感染対策を講じながら以前のような活動を実施したり、図書館ボランティア、水泳学習見守りボランティア等の活動にご協力いただいたりしていることが結果につながっていると考えています。PTA活動においては「時代に合わせたPTA活動を工夫していただきたい」「共働きの昨今、PTA活動が活発であることが良いこととは限らない」等のご意見もいただいています。いただいたご意見を真摯に受け止め、子どもが安心、安全に学校生活を送るために、学校、家庭、地域の協働体制は大切にして、桜井っ子の健やかな成長のために、よりよい学校教育活動を進めていきますので、今後ご理解、ご協力をおねがいします。